

令和5年度
区長会特別要望事項回答

小牧市

《目 次》

- 要望事項1 こまき巡回バスのルート等の見直しについて
(都市整備課) 1 ページ
- 要望事項2 ペーパーレス化による「人と環境にやさしい社会」の
推進について (行政改革課、自治会支援室) 3 ページ

1. こまき巡回バスのルート等の見直しについて

こまき巡回バス「こまくる」については、これまでもバスの利用状況や地域懇談会などでの意見を踏まえ、定期的にルート・ダイヤの再編を頂いているところだが、それでも区民からの「不便を感じる」という声は少ない。

すべての市民が納得できる、ということは難しいと思うが、令和8年度に予定されている「こまくる」の再編に向けて、今後、ルート・ダイヤを検討される際には、引き続き、現在の利用状況の分析や地域懇談会での意見聴取に加え、高齢化率や住環境などの地域特性と巡回バスの利用に関する潜在的なニーズを十分に加味されたうえで、合理的なルート・ダイヤとされることを要望する。

(回答)

こまき巡回バス「こまくる」は、現在、令和8年4月の再編に向けて、ルートやダイヤなどの検討を進めており、これと合わせて、市内の公共交通のあり方などを示す「小牧市地域公共交通計画」の策定を今年度から2ヶ年をかけて進めています。

今後、「こまくる」の再編や計画の策定を進める中で、利用者の方々の声をお聴きすることはもとより、市内の公共交通の利用状況や運行状況、地区の人口や高齢化率などの人口動態、公共施設・商業施設・医療施設などの立地状況並びに自動車交通の状況など地域特性を把握するとともに、市民アンケート調査や企業アンケート調査等の結果から利用者以外の潜在的なニーズの把握を行います。

なお、昨今、燃料費や人件費の高騰により、運行経費が増加していることに加え、路線バスの運転手不足が、全国的に深刻となっており、さらに、令和4年に改正された「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」が、令和6年4月に適用されることから、令和8年4月の再編においては、経済性や事業性について十分に留意する必要があると考えています。

2. ペーパーレス化による 「人と環境にやさしい社会」の推進について

現在、市への各種申請や手続き等の中には、未だに書類を作成し、複数回のやり取りが必要なものがあり、引継ぎ等も含め、毎年膨大な書類がストックされていくような状況にある。

また令和5年度より「広報こまき」の発行が月1回になったことで、配布に係る負担は一定の軽減がなされたものの、相変わらず、市及び関係団体からは多数の刊行物が送付され、とりわけ冊子形式のものは重量があり、仕分けに時間と労力を要するだけでなく、環境負荷や印刷コストの点からも課題を残している。

区の負担軽減はもとより、ペーパーレスによる効率化、環境負荷の低減策の一環として、各種申請、手続きの簡略化ならびに電子化を進めるとともに、刊行物についても統合・削減、電子化（広報こまきや市公式 SNS 等からのホームページへの誘導）の推進と紙での印刷が必要な場合にはページ数の制限、イベント案内等は1つの回覧文書にまとめることなどを盛り込んだ「指針」を設け、市および関係団体と共有されることを要望する。

(回答)

ペーパーレス化については、業務の効率化及び省資源化の推進の観点から「小牧ペーパーレスDXルール」を定めたところであり、その中で、外部事務のペーパーレス化として、市民に渡すチラシ等を減らす工夫について記載しております。

区に向けた書類の配布についても、同ルールを市職員及び市内関係団体等に周知徹底することで、全市的に削減の検討を進めてまいります。

また、各種申請、手続きの簡略化ならびに電子化についても、オンライン化により効果が低いと考えられるものを除き、原則オンライン化を実施する考えに基づき、順次オンライン申請を導入しているところであり、区長事務についてもペーパーレス、電子化等の負担軽減につながる業務改善の取組を推進してまいります。

毎月、多数の区回覧の依頼や区長郵便物が届いている実態は把握しております。

そこで、区回覧、配布物等の適正化を促すべく、昨年11月に「回覧、配布物削減ガイドライン（平成22年策定）」の見直しを行い、回覧物の削減とホームページやSNSの更なる活用促進による情報発信力の強化に努めております。

また、区長郵便についても単なるお知らせなどについては区長連絡網アプリ「結ネット」への掲載に変えるなどして、区長の負担感の軽減に努めてまいります。